

西東京市学童クラブ過密化解消対策方針（案）について（概要）

【背景・課題・問題点】

児童数の長期的な減少傾向は予測されるものの、保護者の就労状況や学童クラブの利用ニーズはさらに増加する見込みです。これらの背景を踏まえ、本市の現状と将来を見据えた計画的な学童クラブの整備が求められます。

1 過密化への対応

学童クラブの入会児童数が増加し、施設定員を超える児童数を受け入れていることから、過密化が課題となっています。

2 施設・設備の老朽化

多くの学童クラブ施設が築年数を重ね、老朽化しています。学童クラブ施設については、築年数に応じた更新、建て替え等の対応が必要となっています。

3 保護者ニーズの多様化

就労する保護者が増えていることから、学童クラブの指導時間延長のニーズが増えています。

【基本方針】

本方針では、以下の基本方針に基づき、持続可能で柔軟な学童クラブ運営を目指します。

1 過密化の解消

短期的には学校施設を一時利用して学童クラブを行う「タイムシェア」を活用し、中期的には施設の新設や拡充により過密状態を解消します。

2 小学校内への整備

小学校内への学童クラブの整備を推進し、児童の安全・安心な環境を確保します。

3 委託化の検討

学童クラブの利用者ニーズに応じた運営を実現するため、民間委託化の検討を行います。

【今後の取組（対応）】

1 短期的な対応

- ・タイムシェアの活用による学童クラブの実施場所の確保

2 中期的な対応

- ・小学校内への移行
- ・委託化の検討

3 長期的な対応

- ・18校すべての学童クラブ整備